



平成30年2月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月10日

上場会社名 ローツェ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6323 URL <http://www.rorze.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤代 祥之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 岩瀬 好啓 (TEL) 084-960-0001
 定時株主総会開催予定日 平成30年5月30日 配当支払開始予定日 平成30年5月31日
 有価証券報告書提出予定日 平成30年5月31日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期の連結業績(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成30年2月期	52,248	111.2	4,236	△7.3	4,404	△3.9	2,743	△10.2
平成29年2月期	24,738	24.0	4,572	55.6	4,581	53.9	3,055	41.3

(注) 包括利益 平成30年2月期 3,416百万円(16.7%) 平成29年2月期 2,927百万円(46.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
平成30年2月期	円 銭 158 73	円 銭 158 70	% 17.6	% 14.5	% 8.1
平成29年2月期	176 78	—	23.7	18.5	18.5

(参考) 持分法投資損益 平成30年2月期 一百万円 平成29年2月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
平成30年2月期	百万円 33,902	百万円 20,847	% 50.2	円 銭 984 06
平成29年2月期	26,980	16,231	52.5	820 34

(参考) 自己資本 平成30年2月期 17,006百万円 平成29年2月期 14,176百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
平成30年2月期	百万円 △27	百万円 △1,713	百万円 3,858	百万円 8,652
平成29年2月期	3,663	△1,194	△472	6,360

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
平成29年2月期	円 銭 —	円 銭 0 00	円 銭 —	円 銭 23 00	円 銭 23 00	百万円 397	% 13.0	% 3.1
平成30年2月期	—	0 00	—	20 00	20 00	345	12.6	2.2
平成31年2月期 (予想)	—	0 00	—	25 00	25 00		11.6	

(注) 平成29年2月期期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 3円00銭

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,866	△55.1	2,244	△32.7	2,240	△32.4	1,732	△19.1	100 28
通期	36,363	△30.4	5,057	19.4	5,042	14.5	3,711	35.3	214 76

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

平成30年2月期	17,640,000 株	平成29年2月期	17,640,000 株
平成30年2月期	358,395 株	平成29年2月期	358,395 株
平成30年2月期	17,281,605 株	平成29年2月期	17,281,610 株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年2月期の個別業績 (平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成30年2月期	12,437	15.6	1,982	△4.4	3,816	88.5	2,473	176.1
平成29年2月期	10,762	14.1	2,073	23.3	2,024	△14.4	895	△50.0

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
平成30年2月期	143 13	143 10
平成29年2月期	51 84	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
平成30年2月期	21,227	12,053	56.7	696.71
平成29年2月期	15,321	9,907	64.7	573.27

(参考) 自己資本

平成30年2月期 12,040百万円

平成29年2月期

9,907百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報等)	13
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
4. その他	19
(1) 生産、受注及び販売の状況	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益の改善や設備投資が堅調に推移し成長が持続したものの、海外の政治・経済動向に懸念が残るなど、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、韓国、中国、台湾などにおいて、半導体、液晶及び有機ELなどの生産に必要な製造装置に対する積極的な設備投資が行われました。

このような状況の中、当社グループは韓国子会社におけるガラス基板関連自動化装置の大量受注を獲得いたしました。また、メモリーメーカーによる3次元構造のNANDフラッシュメモリーやDRAMの生産拡大に向けた設備投資が積極的に行われ、ウエハソータやEFEMなどの受注及び販売が引き続き好調に推移したことから、連結売上高は前年同期比で大幅な増収となりました。

損益面につきましては、韓国子会社におけるガラス基板関連自動化装置の大量受注が超短期間で納品されたことにより、組立外注費及び工場の賃料などの費用が増加したことに加え、納入後の装置の据付、調整に係る人件費及び経費が想定以上に増加した結果、前年同期比で減益となりました。今回の大量受注につきましては、損益面で厳しい結果となりましたが、大量の材料の調達、人員の確保等の経験を生かし、計画生産、工場の自動化など生産規模の拡大、コストダウンに向けて取り組んでまいります。

この結果、当連結会計年度の業績は、売上高52,248百万円（前年同期比111.2%増）、営業利益4,236百万円（前年同期比7.3%減）、経常利益4,404百万円（前年同期比3.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2,743百万円（前年同期比10.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

半導体・液晶関連装置事業の売上高は51,902百万円、セグメント利益は4,651百万円となりました。

ライフサイエンス事業につきましては、平成29年3月1日に関連会社アイエス・テクノロジー・ジャパン株式会社を完全子会社化し、ローツェライフサイエンス株式会社に商号変更したことにより、第1四半期連結会計期間からライフサイエンス事業の中核として位置付け、細胞培養に使用されるインキュベータ（細胞培養装置）等のライフサイエンス関連装置の展示会への出展など販売促進活動を積極的に展開してまいりました。この結果、売上高は346百万円、セグメント損失は74百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ6,921百万円増加し、33,902百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,292百万円、たな卸資産の増加2,587百万円、建物及び構築物の増加863百万円、機械装置及び運搬具の増加975百万円によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2,306百万円増加し、13,055百万円となりました。これは主に、借入金の増加3,096百万円によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4,615百万円増加し、20,847百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加2,311百万円及び非支配株主持分の増加1,773百万円によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、期首残高より2,292百万円増加となり、当連結会計年度末には8,652百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は27百万円（前期は3,663百万円の収入）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益3,886百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額2,460百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は1,713百万円（前期は1,194百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,856百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は3,858百万円（前期は472百万円の支出）となりました。これは主に、長期借入れによる収入3,200百万円、非支配株主からの払込みによる収入1,637百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成26年2月期	平成27年2月期	平成28年2月期	平成29年2月期	平成30年2月期
自己資本比率 (%)	45.0	50.0	51.4	52.5	50.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	40.4	37.5	46.6	164.4	126.0
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	8.1	4.4	3.8	1.1	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	13.9	34.4	39.6	197.9	—

自己資本比率 : 自己資本/総資産
 時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
 キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー
 インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1 いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。
 3 キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。
 4 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としています。
 5 平成30年2月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業キャッシュ・フローがマイナスであるため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

半導体事業におきましては、韓国、中国のメモリーメーカーによる3次元構造のNANDフラッシュメモリーやDRAMの生産力拡大に向けた設備投資が引き続き見込まれます。このような状況の中、当社グループは受注の拡大に努めてまいります。また、半導体業界だけでなく工作機械向け設備投資が好調であることから、一部部品の調達が難しくなっております。長納期部品の確保を重要課題として取り組むとともに、ベトナム生産子会社の生産体制の効率化に努めてまいります。

液晶事業におきましては、韓国子会社におけるガラス基板関連自動化装置の大量受注分の納入が完了したことにより、減収となる見込みであります。韓国を中心に受注の獲得に努めてまいります。

ライフサイエンス事業におきましては、今後再生医療の普及に伴い市場の拡大が予想され、来たる再生医療の産業化に向けて展示会への出展など販売促進活動を引き続き展開してまいります。

これにより、平成31年2月期の連結業績予想につきましては、売上高36,363百万円（前年同期比30.4%減）、営業利益5,057百万円（前年同期比19.4%増）、経常利益5,042百万円（前年同期比14.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益3,711百万円（前年同期比35.3%増）を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営上の重要課題のひとつと認識しております。将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当の維持を基本とし、業績の推移及び財務状況等を総合的に勘案して利益還元を行う方針であります。

なお、当期（平成30年2月期）の配当金につきましては、上記の方針に基づき1株当たり年間配当金額20円の期末配当金を予定しております。

また、次期（平成31年2月期）の配当金につきましては、当社グループ挙げて業績拡大と利益確保に努め、期末配当金25円を目指してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、今後の I F R S (国際財務報告基準) の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当連結会計年度 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,360,169	8,652,351
受取手形及び売掛金	7,331,922	7,734,283
商品及び製品	509,240	466,220
仕掛品	1,494,408	1,632,620
原材料及び貯蔵品	2,829,498	5,321,677
繰延税金資産	457,065	571,923
その他	431,242	452,247
貸倒引当金	△21,120	△12,317
流動資産合計	19,392,427	24,819,008
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,926,028	6,789,088
減価償却累計額	△3,156,768	△3,318,220
建物及び構築物 (純額)	2,769,259	3,470,867
機械装置及び運搬具	2,073,914	3,049,046
減価償却累計額	△1,464,013	△1,552,830
機械装置及び運搬具 (純額)	609,900	1,496,216
土地	2,487,810	2,614,769
建設仮勘定	540,131	174,393
その他	848,534	940,797
減価償却累計額	△709,947	△788,161
その他 (純額)	138,586	152,636
有形固定資産合計	6,545,689	7,908,884
無形固定資産		
ソフトウェア	83,006	94,970
その他	154,301	150,942
無形固定資産合計	237,308	245,913
投資その他の資産		
投資有価証券	307,645	412,605
繰延税金資産	1,262	5,641
その他	551,253	585,601
貸倒引当金	△54,733	△74,841
投資その他の資産合計	805,428	929,006
固定資産合計	7,588,426	9,083,804
資産合計	26,980,854	33,902,812

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当連結会計年度 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,697,024	2,719,676
短期借入金	3,420,986	4,425,842
リース債務	-	529
未払法人税等	586,105	605,771
未払消費税等	36,953	10,983
繰延税金負債	180,644	60,320
賞与引当金	241,449	297,135
役員賞与引当金	20,000	18,000
製品保証引当金	590,117	803,294
その他	1,659,471	823,787
流動負債合計	9,432,754	9,765,340
固定負債		
長期借入金	568,244	2,659,520
繰延税金負債	124,720	143,180
役員退職慰労引当金	446,349	180,631
退職給付に係る負債	116,500	190,971
資産除去債務	60,672	111,566
その他	297	4,347
固定負債合計	1,316,785	3,290,216
負債合計	10,749,539	13,055,557
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,197,990	1,484,948
利益剰余金	11,876,914	14,188,544
自己株式	△53,393	△53,393
株主資本合計	14,004,285	16,602,873
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147,965	205,084
為替換算調整勘定	24,469	198,122
その他の包括利益累計額合計	172,435	403,206
新株予約権	-	13,102
非支配株主持分	2,054,593	3,828,071
純資産合計	16,231,314	20,847,255
負債純資産合計	26,980,854	33,902,812

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 至	平成28年3月1日 平成29年2月28日)	(自 至	平成29年3月1日 平成30年2月28日)
売上高		24,738,925		52,248,900
売上原価		16,735,497		43,008,461
売上総利益		8,003,427		9,240,439
販売費及び一般管理費		3,431,329		5,004,057
営業利益		4,572,098		4,236,382
営業外収益				
受取利息		12,715		11,739
受取配当金		1,500		2,500
受取保険金		4,359		1,048
売電収入		62,383		63,679
補助金収入		7,372		1,000
デリバティブ利益		-		334,378
その他		32,492		51,008
営業外収益合計		120,823		465,355
営業外費用				
支払利息		18,516		30,344
為替差損		29,197		192,255
売電費用		39,398		34,840
デリバティブ損失		11,648		-
その他		12,219		39,990
営業外費用合計		110,980		297,430
経常利益		4,581,941		4,404,306
特別利益				
投資有価証券売却益		5		-
関係会社株式売却益		61,508		-
固定資産売却益		8,027		4,833
段階取得に係る差益		-		50,474
特別利益合計		69,541		55,308
特別損失				
関係会社株式評価損		4,100		-
ゴルフ会員権評価損		8,395		-
投資有価証券売却損		-		1
固定資産売却損		0		25,576
固定資産除却損		14,427		66,466
減損損失		78,707		480,695
災害による損失		76,015		-
特別損失合計		181,646		572,740
税金等調整前当期純利益		4,469,836		3,886,874
法人税、住民税及び事業税		1,056,256		1,201,108
法人税等調整額		171,129		△233,011
法人税等合計		1,227,386		968,097
当期純利益		3,242,449		2,918,777
非支配株主に帰属する当期純利益		187,436		175,696
親会社株主に帰属する当期純利益		3,055,013		2,743,081

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)
当期純利益	3,242,449	2,918,777
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	59,541	57,119
為替換算調整勘定	△374,556	440,305
その他の包括利益合計	△315,014	497,424
包括利益	2,927,435	3,416,202
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,852,581	2,973,853
非支配株主に係る包括利益	74,853	442,348

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	982,775	1,172,580	9,081,125	△53,356	11,183,123
当期変動額					
剰余金の配当			△259,224		△259,224
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,055,013		3,055,013
自己株式の取得				△37	△37
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		25,409			25,409
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	25,409	2,795,789	△37	2,821,161
当期末残高	982,775	1,197,990	11,876,914	△53,393	14,004,285

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計		
当期首残高	88,423	286,443	374,867	1,904,799	13,462,790
当期変動額					
剰余金の配当					△259,224
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,055,013
自己株式の取得					△37
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					25,409
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	59,541	△261,973	△202,432	149,794	△52,637
当期変動額合計	59,541	△261,973	△202,432	149,794	2,768,523
当期末残高	147,965	24,469	172,435	2,054,593	16,231,314

当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	982,775	1,197,990	11,876,914	△53,393	14,004,285
当期変動額					
剰余金の配当			△397,476		△397,476
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,743,081		2,743,081
連結範囲の変動			△33,974		△33,974
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		286,957			286,957
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	286,957	2,311,630	-	2,598,587
当期末残高	982,775	1,484,948	14,188,544	△53,393	16,602,873

	その他の包括利益累計額		
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計
当期首残高	147,965	24,469	172,435
当期変動額			
剰余金の配当			
親会社株主に帰属する 当期純利益			
連結範囲の変動			
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動			
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	57,119	173,652	230,771
当期変動額合計	57,119	173,652	230,771
当期末残高	205,084	198,122	403,206

	新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	-	2,054,593	16,231,314
当期変動額			
剰余金の配当			△397,476
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,743,081
連結範囲の変動			△33,974
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動			286,957
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	13,102	1,773,478	2,017,352
当期変動額合計	13,102	1,773,478	4,615,940
当期末残高	13,102	3,828,071	20,847,255

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	4,469,836	3,886,874
減価償却費	356,760	433,648
無形固定資産償却費	33,496	38,252
のれん償却額	-	36,947
減損損失	78,707	480,695
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△367	△9,537
受取利息及び受取配当金	△14,215	△14,239
支払利息	18,516	30,344
為替差損益 (△は益)	74,081	△251,975
デリバティブ損益 (△は益)	11,648	△334,378
有形固定資産除却損	4,093	66,387
無形固定資産除却損	10,334	79
有形固定資産売却損益 (△は益)	△8,026	20,742
段階取得に係る差損益 (△は益)	-	△50,474
災害損失	76,015	-
関係会社株式評価損	4,100	-
ゴルフ会員権評価損	8,395	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5	1
関係会社株式売却損益 (△は益)	△61,508	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,578,839	43,593
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△516,968	△2,460,738
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,403,389	△178,639
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△266,621	357,101
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	851,235	△976,605
その他	△572	66,827
小計	4,953,485	1,184,907
利息及び配当金の受取額	14,975	13,571
利息の支払額	△18,224	△29,914
災害損失の支払額	△25,100	-
法人税等の支払額	△1,261,242	△1,196,176
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,663,894	△27,611
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,096,782	△1,856,393
有形固定資産の売却による収入	8,030	12,002
無形固定資産の取得による支出	△29,709	△46,300
投資有価証券の取得による支出	-	△28,500
投資有価証券の売却による収入	88,570	3,621
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	135,797
貸付金の回収による収入	84,800	31,087
定期預金の預入による支出	△21,274	-
定期預金の払戻による収入	23,208	-
その他	△251,214	35,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,194,370	△1,713,553

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	386,016	682,300
長期借入れによる収入	100,000	3,200,000
長期借入金の返済による支出	△805,091	△1,243,332
非支配株主からの払込みによる収入	-	1,637,999
配当金の支払額	△259,224	△397,476
非支配株主への配当金の支払額	-	△20,289
自己株式の取得による支出	△37	-
子会社の自己株式の処分による収入	105,957	-
リース債務の返済による支出	-	△908
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472,379	3,858,292
現金及び現金同等物に係る換算差額	△128,996	175,054
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,868,147	2,292,182
現金及び現金同等物の期首残高	4,492,021	6,360,169
現金及び現金同等物の期末残高	6,360,169	8,652,351

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当連結会計年度から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品の種類別に事業を展開しており、「半導体・液晶関連装置事業」及び「ライフサイエンス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「半導体・液晶関連装置事業」は、半導体業界や液晶業界における自動化装置の開発・製造・販売を行い、「ライフサイエンス事業」は、創薬や再生医療に必要な細胞培養操作の自動化装置の開発・製造・販売を行っております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

従来、当社グループの事業セグメントは「半導体・液晶関連装置事業」と「磁石事業」であり、「磁石事業」の割合が低く、重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しておりましたが、当第1四半期連結会計期間においてローツェライフサイエンス株式会社を連結子会社化したことに伴い、当第1四半期連結会計期間よりライフサイエンス事業の重要性が増したため、報告セグメントを「半導体・液晶関連装置事業」及び「ライフサイエンス事業」の2区分に変更しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理基準に基づく金額により記載しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
当連結会計年度（自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	半導体・ 液晶関連 装置事業	ライフサイ エンス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	51,902,773	346,126	52,248,900	—	52,248,900	—	52,248,900
セグメント間の内部 売上高又は振替高	80,013	—	80,013	5,112	85,125	△85,125	—
計	51,982,787	346,126	52,328,914	5,112	52,334,026	△85,125	52,248,900
セグメント利益 又は損失 (△)	4,651,007	△74,580	4,576,427	△86,680	4,489,746	△253,364	4,236,382
セグメント資産	31,458,254	616,139	32,074,394	510,241	32,584,635	1,318,177	33,902,812
その他の項目							
減価償却費	444,458	11,728	456,187	15,713	471,901	—	471,901
のれんの償却額	—	36,947	36,947	—	36,947	—	36,947
有形固定資産及び 無形固定資産の 増加額	1,624,548	3,525	1,628,073	274,620	1,902,694	—	1,902,694

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、磁石事業であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△253,364千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産の調整額1,318,177千円は、各報告セグメントに帰属していない全社資産であり、連結財務諸表提出会社の余資運用資金（現金及び預金）であります。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	半導体・液晶関連装置事業					ライフサイエンス事業	合計
	ウエハ搬送機	ガラス基板搬送機	モータ制御機器	部品・修理他	商品		
外部顧客への売上高	14,853,065	7,368,978	64,333	2,383,182	3,695	65,670	24,738,925

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	台湾	中国	韓国	米国	ベトナム	その他の地域	合計
3,423,488	6,962,954	2,142,395	7,821,311	1,752,454	420,983	2,215,336	24,738,925

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	韓国	ベトナム	その他の地域	全社・消去	合計
3,085,635	1,451,311	1,912,221	97,547	△1,025	6,545,689

(注) 「全社・消去」の金額は、固定資産の未実現利益の消去によるものであります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
Samsung Display Co., Ltd.	6,590,563
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	3,562,103

当連結会計年度（自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	半導体・液晶関連装置事業					ライフサイエンス事業	合計
	ウエハ搬送機	ガラス基板搬送機	モータ制御機器	部品・修理他	商品		
外部顧客への売上高	17,992,787	30,389,440	99,053	3,419,514	1,976	346,126	52,248,900

(表示方法の変更)

当連結会計年度より報告セグメントを変更したため、前連結会計年度の「バイオ・ゲノム関連装置」65,670千円は、「ライフサイエンス事業」へ組替えております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

日本	台湾	中国	韓国	米国	ベトナム	その他の地域	合計
3,759,398	7,855,891	2,773,254	8,549,532	2,662,157	24,426,261	2,222,404	52,248,900

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(表示方法の変更)

当連結会計年度より「ベトナム」は、金額の重要性が増したため区分掲記しております。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の「その他の地域」2,636,320千円のうち、420,983千円を「ベトナム」へ組替えております。

(2) 有形固定資産

(単位：千円)

日本	韓国	ベトナム	その他の地域	全社・消去	合計
3,094,710	1,668,804	3,076,730	79,322	△10,683	7,908,884

(注) 「全社・消去」の金額は、固定資産の未実現利益の消去によるものであります。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高
Samsung Display Vietnam Co., Ltd.	24,415,345
Samsung Display Co., Ltd.	5,334,401

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日）

「磁石事業」セグメントにおいて、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったため、連結子会社における事業用資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として78,707千円計上しております。

当連結会計年度（自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日）

「磁石事業」セグメントにおいて、生産設備の立ち上げの遅れによる生産及び販売計画の更なる遅れ及び債務超過の発生により、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったため、連結子会社における事業用資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、当該減少額を減損損失として312,718千円計上しております。

「ライフサイエンス事業」セグメントにおいて、売上高及び利益が当初計画を大きく下回ったことによる株式実質価額の低下及び債務超過の発生により、収益性が低下し投資額の回収が見込めなくなったため、連結子会社の株式取得時に発生した、のれんの減損損失147,789千円を計上しております。また、事業用資産につきましても帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失として20,187千円計上しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日）

(単位：千円)

	半導体・ 液晶関連 装置事業	ライフサイ エンス事業	その他 (注)	合計
当期償却額	—	36,947	—	36,947
当期末残高	—	—	—	—

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、磁石事業であります。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)
1株当たり純資産額	820円34銭	984円06銭
1株当たり当期純利益金額	176円78銭	158円73銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—	158円70銭

(注) 1. 前連結会計年度における潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)
1株当たり当期純利益金額		
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,055,013	2,743,081
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,055,013	2,743,081
普通株式の期中平均株式数 (株)	17,281,610	17,281,605
潜在株式調整後1株当たり当期純利益額		
普通株式増加数 (株)	—	3,165
(うち新株予約権 (株))	—	(3,165)
希薄化効果有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当連結会計年度 (平成30年2月28日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額 (千円)	16,231,314	20,847,255
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	2,054,593	3,841,174
(うち新株予約権 (千円))	—	(13,102)
(うち非支配株主持分 (千円))	(2,054,593)	(3,828,071)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	14,176,720	17,006,080
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数 (株)	17,281,605	17,281,605

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

従来、当社グループの事業セグメントは「半導体・液晶関連装置事業」と「磁石事業」であり、「磁石事業」の割合が低く重要性が乏しいため、セグメント別の記載を省略しておりましたが、当第1四半期連結会計期間においてローツェライフサイエンス株式会社を連結子会社化したことに伴い、当第1四半期連結会計期間よりライフサイエンス事業の重要性が増したため、報告セグメントを「半導体・液晶関連装置事業」および「ライフサイエンス事業」の2区分に変更しております。

①生産実績

当連結会計年度における生産実績をセグメントごと及び品目別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)		
	品目	生産高 (千円)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連装置事業			
	ウエハ搬送機	12,328,557	104.3
	ガラス基板搬送機	29,820,920	627.4
	モータ制御機器	75,614	155.2
	計	42,225,092	254.1
ライフサイエンス事業		238,503	511.0
合計		42,463,596	254.8

(注) 1. 金額は、製造原価によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当連結会計年度における受注実績をセグメントごと及び品目別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)				
	品目	受注高 (千円)	前年同期比 (%)	受注残高 (千円)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連装置事業					
	ウエハ搬送機	20,677,257	126.8	9,440,096	139.0
	ガラス基板搬送機	29,225,583	327.3	702,553	37.6
	計	49,902,840	197.7	10,142,649	117.2
ライフサイエンス事業		234,182	295.0	39,200	209.3
合計		50,137,022	198.1	10,181,849	117.4

(注) 1. 金額は、販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当連結会計年度における販売実績をセグメントごと及び品目別に示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)		
	品目	販売高 (千円)	前年同期比 (%)
半導体・液晶関連装置事業			
ウエハ搬送機	17,992,787	121.1	
ガラス基板搬送機	30,389,440	412.4	
モータ制御機器	99,053	154.0	
部品・修理 他	3,419,514	143.5	
商品	1,976	53.5	
計	51,902,773	210.4	
ライフサイエンス事業	346,126	527.1	
合計	52,248,900	211.2	

(注) 1. 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前連結会計年度 (自 平成28年3月1日 至 平成29年2月28日)		当連結会計年度 (自 平成29年3月1日 至 平成30年2月28日)	
	販売高 (千円)	割合 (%)	販売高 (千円)	割合 (%)
Samsung Display Vietnam Co.,Ltd.	—	—	24,415,345	46.7
Samsung Display Co.,Ltd.	6,590,563	26.6	5,334,401	10.2
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co.,Ltd.	3,562,103	14.4	—	—

(注) 1. Samsung Display Vietnam Co.,Ltd. に対する前連結会計年度の売上高は、405,064千円 (総販売実績に対する割合1.6%) であります。

2. Taiwan Semiconductor Manufacturing Co.,Ltd. に対する当連結会計年度の売上高は、3,914,946千円 (総販売実績に対する7.5%) であります。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。